

2年A組 数学科学習指導案

授業者 田 山 慶 彦

- 1 単元名・教材名 3章 1次関数「4 1次関数を求めること」(東京書籍 新しい数学2)
 2 本時の目標 与えられた2点の座標から、1次関数を求めることができる。
 3 本時の流れ 本時2/2時

段階	学習内容	支援上の留意点	評価規準と評価方法
導入 5分	1 前時までの確認	<ul style="list-style-type: none"> 前時の、グラフの傾きや変化の割合と1点の座標がわかっている場合の求め方を全体で確認する。 	
展開 42分	2 課題Ⅰの提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 【教科書 p.69 例3】 y が x の1次関数で、そのグラフが(2,3)、(5,9)を通るとき、この1次関数を求めなさい。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 2点の座標から1次関数を求めるにはどうすればよいか </div> 3 解決する方法を見通す(グループ) 4 解決する方法を確認する 5 共有した考え方で1次関数を求める(グループ) 6 課題Ⅰの確認・まとめ 7 課題Ⅱの提示 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> 解き方を選んで1次関数を求めよう </div> 8 教科書の問題を解く ・教科書 p. 69 たしかめ3, 問4	<ul style="list-style-type: none"> 「1 前時までの確認」の内容をふまえ、2点から傾きを出したり、グラフが通る点の座標の値を式に代入したりすることで求められるようにする。 求める方法が出てこないグループには、グラフ、表などを利用して考えるように助言する。 方法が1つまとまったグループには、他の方法を考えるように指示する。 全体へ返し発表させ、求め方を共有させる。 説明を確認するために、発表後ペアに戻し再度確認させる。 共有した考え方をもとに、条件を満たす1次関数を求めさせる。 全体で共有するために、解き方を板書させ、説明させる。 2点の座標から1次関数を求める方法を確認する。 確認した解き方が定着したかどうかを確認するため、教科書の問題を解かせる。 全体が解き終わったならば、適宜巡視しながら、グループで答え合わせをさせる。 	【技能】 2点の座標から1次関数を求めることができる。(ノート)
終結 3分	9 本時の振り返り		

4 指導にかかる思い

本時の課題を、前時までの2点からグラフの傾きを求めたり、連立方程式を利用したりすることによる考え方に帰着させ、求める方法を考えさせるように指導したい。